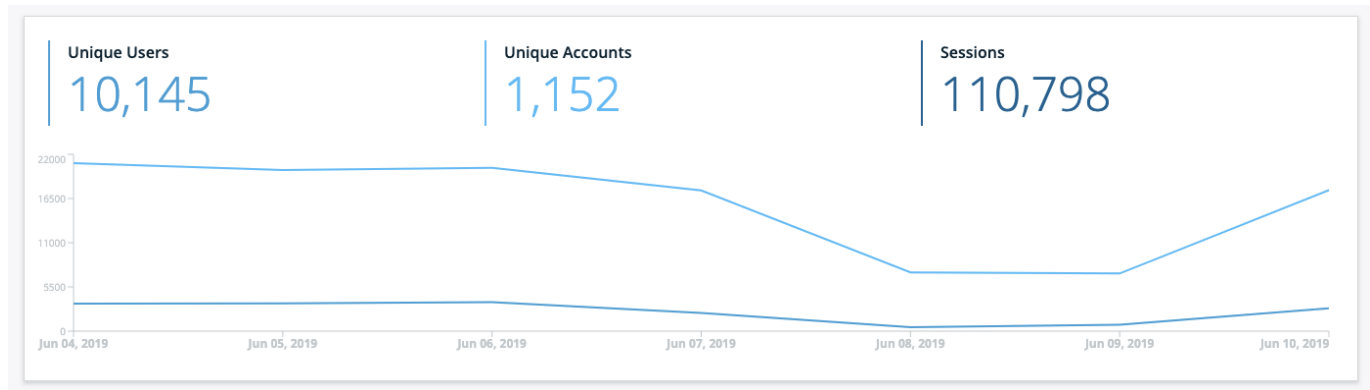


アカウントベースアナリティクス

概要

アカウントに販売を行うSaaS企業では、ユーザーレベルの詳細では不十分であり、ユーザーグループ（アカウントなど）をエンゲージメントやアダプションの面から追跡する必要がある場合があります。

アカウントレベルアナリティクス機能を有効にすると、インサイトはエンドユーザーレベルの上にアカウント情報を追加し、特定のエンドユーザーを親アカウントにグループ化します。



サポートされるメソッド

1. メール – ユーザー IDがエディタで設定されており、割り当てられた値が標準のメールであれば動

Safe Start **General** Single Page Features

Unique User Settings

Set a unique user identifier to track each user's activity

User Identifier: Defined by

☒ Don't load WalkMe if user is

Analytics Properties ⓘ

To display identifiable data in WalkMe, select the properties you want to track.

☐ Name ☐ Type ☐ Role ☐ Variable

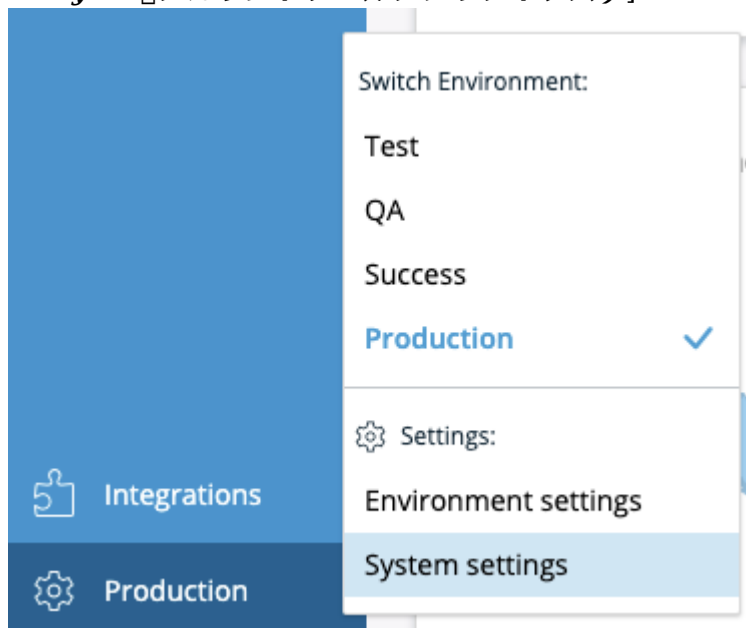
None
Walkme ID
Cookie
jQuery
Variable
Salesforce User ID

作します。

2. **APIプロパティ** – ウィンドウオブジェクト からアクセス可能なすべてのJavaScript変数で使用でき、割り当てられた値に基づいてグループ化を行います（つまり、割り当てられた値には、メールアドレスではなくアカウント名が設定されている必要があります）。

機能の有効化

- 次に移動します：[**Production**（本番）]→[**System settings**（システム設定）]→[**Account level analytics**（アカウントレベルアナリティクス）]



2. **Enable account-level analytics**（アカウントレベルアナリティクスを有効化）をオンにします。
3. ドロップダウン（メールまたはAPIプロパティ）から任意のアカウントIDを選択し、値を設定します。
4. **Save**（保存）をクリックします
5. 設定のパブリッシュを実行

Account-level analytics

☒ **Enable account-level analytics**

Enable or disable the ability to view user behavior by account, rather than end-user behavior.

Account identifier

API property ▼

pieParameters.userEmail



SAVE SETTINGS